

# 須木中だより

第13号 平成30年12月3日発行

## 12月（師走）

師（僧）も走り出すように慌ただしくなる月というのが「師走」の語源です。



学校は、2学期前半のしめくくりの月となり、3年生にとっては、三者面談も終わり、いよいよ志望校に向かって最後の頑張りをみせる時期でもあります。

また、今月7日（金）には、「しめ縄作り」、そして16日（日）には学習成果発表会・校内持久走大会を開催し、今年の最後の行事を終えることとなります。



寒さも厳しくなってきますが、健康に気をつけて頑張ってください。

## ものづくり九州大会

先月17日（土）に長崎市の長崎東中学校で開催された『第19回ものづくり産業フェアめざせ「木工の技」チャンピオン九州地区大会』に本校3年生の崎山大輝くんが県代表として出場しました。制限時間4時間内で設計・製作していきます。

この日のために練習を重ね、本番では、りっぱな整理収納棚を完成させることができました。

そして、優良賞を受賞しました。おめでとうございます。この経験はきっとこれからの人生に生かされていくと思います。指導された小田先生、そして送迎してくださいましたお家の方、ありがとうございました。



## 職場体験学習《2年生》



2年生は、先月14日（水）～15日（木）の二日間の日程で、職場体験学習を行いました。

「小林市立病院」、「すき特産」、「ういん〜わいど」、「須木小学校」の4つの体験事業所にお世話になりました。それぞれの職場でいろんな人と関わりながら、働くことの意義や責任もってやり抜く態度等を学んだことと思います。これから将来に向けての職業観や勤労観を育てる上で意義のある活動となったことと思います。

2年生のみなさん、お疲れ様でした。

## 小中合同授業研究会 (11/21)

今年度1回目の小中合同による授業研究会を実施しました。

本校の松田裕子先生が研究授業をされ、小中学校の職員が参観しました。教科は3年生社会科。単元は「消費生活と価格の動き」。

電子黒板や具体物を使って、市場価格の仕組みについて考える学習でした。子どもたちは、興味関心をもって、熱心に活動していました。

授業後の研究協議でも活発な意見が出され、今後の研究の方向性を見極める貴重な研修になりました。



## ドリームジャンボ学園V

小林市社会福祉協議会須

木支所のご支援で開催していますドリームジャンボ学園。第5回の講演が先月22日（木）に行われました。

今回の講師は、（株）ホテルマックス営業統括部CSの日高昭江様。

「仕事の内容や魅力及び就労方法等」についてお話を聴かせていただきました。お客さまからの「ありがとう」の声を聴くために勤務を頑張ってもらっていることやあいさつの大切さについて改めて見つめ直す機会になりました。



## 家庭教育学級研修視察《視察研修》

このほど家庭教育学級生による視察研修が行われました。

研修先は、鳥栖市にある「中富記念くすり博物館」。貴重な遺産を見学され、命の尊さや健康への願い等について学んでこられたようです。お疲れ様でした。

2年A組担任の松田裕子先生が、二人目の子どもさんの出産を控え、今月からお休みに

入れられました。無事に赤ちゃんを出産して、また元気に戻って来られるのを願っています。これまでありがとうございました。そして、後任に、本日から宮崎康弘先生が勤務されます。

どうぞ、よろしく願いいたします。